

## 二種混合ワクチン (沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド) について

～予防接種に欠かせない情報です、必ずお読みください～

### 1. 病気の説明

#### ジフテリア

ジフテリアはジフテリア菌の感染によって起こる急性感染症で、ジフテリア菌の飛沫（ひまつ）感染によって生じます。1981年ジフテリア・百日せき・破傷風混合ワクチン（DPT）が導入され、現在では患者発生数は年間0～1名程度です。しかし、ジフテリアは感染しても10%程度の人に症状が出るだけで、残りの人は病状が出ない保菌者となり、その人を通じて感染することもあります。

感染は主にのどですが、鼻にも感染します。**病状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐**などで、偽膜（ぎまく）と呼ばれる膜ができて窒息死することもあります。発病2～3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経マヒを起こすことがあるため注意が必要です。

※飛沫感染・・・ウイルスや細菌がせきやくしゃみなどにより、細かい唾液等につつまれて空気中へ飛び出し、約1mの範囲で人に感染させること。

偽膜・・・炎症などによって生じた繊維素にうみなどが加わってできた膜様のもの。

#### 破傷風

破傷風は破傷風菌によって生じる感染症で、ヒトからヒトへ感染するのではなく、土の中にいる菌が傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。

菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために、筋肉のけいれんを起こします。最初は口が開かなくなるなどの症状が気付かれ、やがて全身のけいれんを起こすようになり、治療が遅れると死に至ることもある病気です。患者の半数は自分や周りの人では気がつかない程度の軽い刺し傷が原因です。土中に菌がいるため、感染する機会は常にあります。また、お母さんが抵抗力（免疫）をもっていれば出産時に新生児が破傷風にかかるのを防ぐことができます。

### 2. 接種について

沈降ジフテリア破傷風混合トキソイドを使用し、1回皮下に接種します。

乳幼児期の頃に接種した三種混合もしくは四種混合のうち、ジフテリアと破傷風の免疫の維持、強化を目的に行うもので、**11歳から13歳未満の方が対象です。**

### 3. ワクチンの効果と副反応について

ワクチンの添付文書によると、本ワクチンを健康小児に接種し、接種完了後4週に測定を実施した結果、いずれの児童も感染の防御に有効な抗毒素量を有していたとされています。

本ワクチンを接種した場合の副反応ですが、局所症状として、**発赤、<sup>しゅちよう</sup>腫脹、疼痛、硬結**が、全身症状として**発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、ゲリ、めまい、関節痛等**が見られることがあります。いずれも一過性のもので2～3日中に消失するとされています。ただし、硬結については1～2週間残存することもあるとされています。

また重大な副反応として、非常にまれですが、次のような副反応が報告されています。

○アナフィラキシー様症状（じんましん・呼吸困難・血管浮腫等）

#### 4. 予防接種を受けに行く前に（一般的注意事項）

予防接種は体調のよい時に接種を受けるのが原則です。日頃からお子さんの体質・体調等の健康状態によく気を配って下さい。何か気になることがあれば、かかりつけの医師や保健センターにご相談ください。安全に予防接種を受けられるよう、以下の注意事項を確認したうえで、予防接種を受けるかどうかご判断ください。

- ①接種当日はお子さんの状態をよく観察し、普段と変わったところがないことを確認してください。体調が悪く思ったら、かかりつけ医に相談のうえ接種の判断をして下さい。
- ②受ける予定の予防接種について、通知や説明等をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解して下さい。わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- ③**母子健康手帳は必ず持参**していきましょう。
- ④予診票は接種する医師への大切な情報です。責任をもってしっかり記入ください。
- ⑤医療機関へはお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者の方が連れて行って下さい。

予防接種は、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種に同意したときに限り、接種が行われます。

#### 5. 予防接種を受けることができない人

- ①当該予防接種に相当する予防接種を受けたことのある方で当該予防接種を行う必要がないと認められる方
- ②明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます）をしている方
- ③重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ④当該疾病に係る予防接種の接種液の成分によって、アナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ⑤その他、医師が接種は不適切な状態と判断した場合

#### 6. 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①予防接種を受けたあと 30 分程度は、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ②接種後、1 週間は副反応の出現に注意して下さい。
- ③接種部位を清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④当日ははげしい運動はさけましょう。
- ⑤接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

#### 7. 予防接種による健康被害救済制度について

- 定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関で治療が必要になった場合、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることが出来ます。
  - 健康被害の程度に応じて、医療費、医療手当、障害時養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められて金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了する、または障害が治癒する期間まで支給されます。
  - 健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に給付を受けることが出来ます。
  - 予防接種法に基づく定期の予防接種として定められた期間を外れて接種を希望する場合、予防接種法に基づかない接種（任意接種）として取り扱われます。その接種で健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療総合機構法に基づく救済を受けることになりますが、予防接種法と比べて救済の対象、額等が異なります。
- ※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、保健所、福生市保健センターへご相談ください。